

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

病院長名	佐藤 公治
所在地	〒466-8650 愛知県名古屋市昭和区妙見町2番地の9
交通案内	地下鉄：名城線八事日赤駅下車 2番出口すぐ バ ス：市バス妙見町行 八事日赤病院停下車

□ 病院の特徴

当院は、歴代院長が首尾一貫した方針で病院の進むべき方向性を定め、歴史と伝統である救急医療、高度医療、災害救護と国際救援、周産期医療、医療連携、研修医教育などを推進することによって現在の病院にまで発展してきました。

特に“研修医は病院発展の原動力”との考えのもと、研修医教育には最重点を置き、専攻医、研修医教育指導体制の充実を図ってきました。

□ 研修プログラムの特徴

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院外科専門研修プログラムは、地域の中核病院としての日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院および中京病院を研修の主体とし、名古屋東部地域に位置する旭労災病院、東海病院、地域医療の拠点として静岡済生会総合病院、名古屋大学医学部附属病院、愛知医科大学病院の2つの大学病院および日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院を含んでいます。

専門研修1年目では、消化器外科、乳腺外科、心臓血管外科、呼吸器外科、移植内分泌外科、救命救急センターをローテーションして各領域の症例を経験します。専門研修2年目では、各サブスペシャリティ領域科を選択してローテートしつつ症例を経験します。専門研修3年目では、専攻医の希望に応じて各サブスペシャルティ領域科にFixして研修を行います。専門研修3年間のうち6ヶ月は専攻医の希望する連携施設での研修となります。上記のローテートの時期、内容は専攻医の希望に応じて変更可能です。

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院は地域がん診療連携拠点病院に指定されており、化学療法センター、緩和ケアチーム、高精度放射線治療センターを併設し、各領域のがん診療に関し専門的な研修を行うことができます。

消化器外科、呼吸器外科、移植内分泌外科では内視鏡外科手術教育に力を入れており、専門研修の期間中に虫垂切除、胆嚢摘出、結腸切除などの内視鏡外科手術を執刀します。またロボット手術にも助手としてはいるため、ロボット手術の院外研修にも参加していただきます。心臓血管外科は心臓外科、血管外科、小児心臓外科の3科構成になっており、それぞれに指導的専門医もしくは専門医がいます。植え込み型補助人工心臓の施設認定や胸部・腹部大動脈ステントグラフトの実施施設認定も取得しており、新生児から末期重症心不全まで総ての心臓血管手術を経験することができます。



□ 主な連携施設

独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院、社会福祉法人恩賜財団静岡県済生会、独立行政法人労働者健康安全機構旭労災病院、国家公務員共済組合連合会東海病院、名古屋大学医学部附属病院、愛知医科大学病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

□ メッセージ

第一消化器外科部長・外科 PG 責任者 / 一般消化器外科 坂本英至

「手術実績は全国トップクラスを誇る」

当院の特徴は、一般消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、移植内分泌外科と専門分野ごとに細分化されていること。それぞれの症例数も多く、高度な医療を提供しています。内視鏡手術は年間600件以上あり、総胆管結石手術や大腸がん手術数は全国トップクラスの実績を誇ります。またロボット手術にも力を入れています。カンファレンスが充実しているのも特徴のひとつです。科内で行うのはもちろん、内科、病理科、放射線科などの科横断的なカンファレンスも定期的を実施しています。また、ドクターをはじめがん治療に関するすべてのスタッフが集まってがん患者さんの治療方針などを検討するカンサーボードは月に1回開催。手術の様子を撮影したビデオを教材として技術を学ぶビデオ検討会は週に1回行います。すべての手術をビデオ撮影しており、ビデオ検討会以外でも、いつでも見られるようになっているので、どんどん活用してもらえれば。当院では、実績でさまざまな経験ができる上、それを知識として自分にフィードバックできる環境が整っています。



□ 募集要項

・採用予定人数	7 人
・給与／月額	3年目 平均約 750,000 円／月
・当直回数／月	診療科によって異なる
・当直料／回	診療科によって異なる
・その他	
・応募連絡先	担 当 者 教育研修管理課 電話番号 052-832-1121 E メール education@nagoya2.jrc.or.jp